

付着生物ラーバ情報

サンカクフジツボのラーバが出現

1 ラーバの出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1、2、出現数の推移は図2のとおりです。

(1) アカザラ

ラーバは西湾平均で76個体/m³、東湾平均で136個体/m³見られ、180μm以上のラーバ出現割合は西湾で16.5%、東湾で9.4%でした(表1)。

(2) ムラサキイガイ

ラーバは久栗坂沖で19.1個体/m³、川内沖で109.3個体/m³見られました(表2)。

(3) サンカクフジツボ

ラーバは久栗坂沖で1.1個体/m³見られました(表2)。

(4) ユウレイボヤ

ラーバは見られていません(表2)。

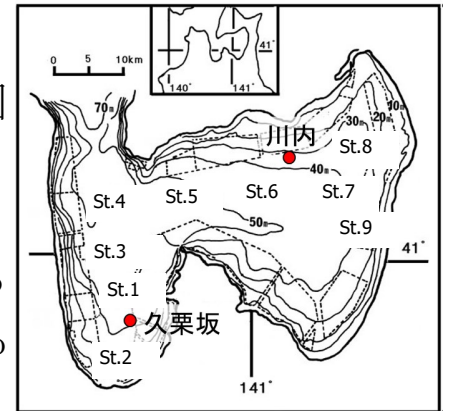


図1 アカザララーバ(St.1~9)とその他付着生物ラーバ(久栗坂・川内)の調査地点

表1 アカザララーバの出現状況(7月24日)

	全出現個数	180μm未満		180μm以上	
		個数	割合	個数	割合
西湾平均	76	63	83.5%	13	16.5%
東湾平均	136	123	90.6%	13	9.4%
全湾平均	109	96	88.4%	13	11.6%

表2 ラーバの出現状況 単位:個体/m³

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	ムラサキイガイ	サンカクフジツボ
久栗坂沖	R5.7.18	0.0	0.0	19.1	1.1
川内沖	R5.7.18	0.0	0.0	109.3	0.0

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

2 今後の見込み

(1) アカザラ

ラーバは殻長190μm前後で付着します。

付着直前のラーバは減少しましたが、小型のラーバが増加したので、しばらく付着が進む見込みです。

(2) ムラサキイガイ

ラーバは周年見られますが、特に5~7月に多く出現します。

現在、付着直前の大型ラーバが東湾で多く見られているので、今後、籠や耳吊りに付着すると考えられます。

(3) サンカクフジツボ

付着直前のラーバ(図3)は今後増加する見込みです。

(4) ユウレイボヤ

今春のラーバは今後ほとんど出現しない見込みですが、今秋、中層水温が20℃を下回ると再びラーバが出現する見込みです。

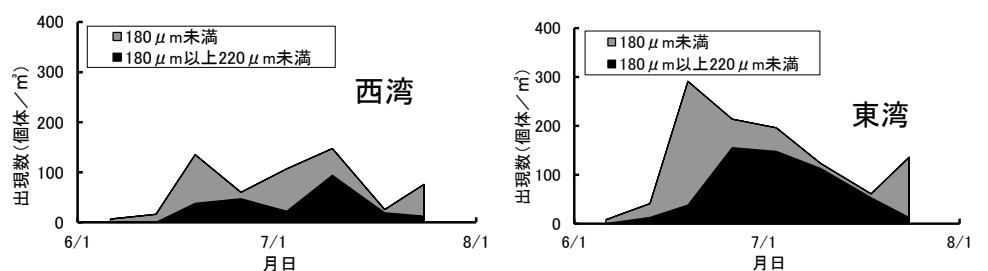


図2 西湾(St.1~4)、東湾(St.5~9)におけるアカザララーバ出現数の推移(令和5年6~7月)



図3 付着直前のサンカクフジツボラーバ(キプリス幼生)

